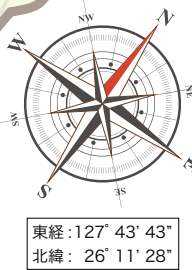


南風原町は12の字(あざ)から成る県内で唯一海岸に面していない町です。高速道路や主要幹線道路が通る交通アクセス抜群のエリアに位置しており、琉球かすり・花織等の伝統工芸や、かぼちゃやヘチマの生産地として知られています。また、各字に伝わる多くの民俗芸能や平和を伝える戦跡等が、世代を超えて守り、受け継がれており、豊かな自然と伝統文化に恵まれた町です。



南風原町是那覇市の東側にあつて、北部は首里と隣接しています。そのため、琉球王朝時代には、王族が南部へ行く際に必ず南風原町を通つたと言われており、交通の要となっていました。現在の南風原町を見ても東西南北へ連なる主要幹線道路があり、人や物流の重要な位置になっています。

